

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名 佐賀市立西川副小学校

1 前年度 評価結果の概要
 ・プランシートを利用した道徳授業実践と全員授業実施で振り返りや板書、発問等で日常の授業の改善・充実を図ることができた。また、特設のこころの時間の充実を進め、日常の様々な場面で道徳的価値について考えさせることができた。今後は子供たち同士の対話をもっと豊かにさせていきたい。
 ・児童に係る情報共有、ニーズに応じた研修、SSWやSC、巡回相談の活用などを通して、教員の専門性と意識が向上した。また、一人一台端末を中心としたICTの効果的な活用を通して授業改善に取り組んできたところ、「粘り強く学習に取り組む力」や「自分らしく学ぶ姿」が見られ、児童が主体的に学ぶ姿につながった。
 ・業務改善を推進し、話し合う時間の確保や協働する体制を見直したところ、職員間の共通理解が深まり、チームで課題に向かう意識が高まった。今後は、職員一人一人が自分のできる関わり方で若手育成を推進していきたい。

2 学校教育目標
 「自分らしく主体的に学び続ける児童の育成 ～かしこく、やさしく、たくましく、笑顔輝く西っ子～」

3 本年度の重点目標
 ① 主体的な学びを引き出す授業、活動の実践試行的授業実践
 ② 県指定道徳教育推進の継続(2年次)
 ③ 児童の困り感に寄り添う特別支援教育の充実

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践 ○学習規律の徹底	○児童アンケートで「授業では、自分で問いやめあてを考えたり、自分の考えを伝えたりすることができている」と回答した児童80%以上 ○児童アンケートで「3時間目の始まる2分前に着席することができている」と回答した児童85%以上	・授業づくりや学びづくりについての研修会を月に1回程度行う。 ・児童への意識付けをする重点週間を設け、2分前着席後の過ごし方について全校で共通理解を図る。							まなび部
	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「クラスの仲間の誰かが失敗したり、困ったりしているときに、声をかけたり助けたりすることができている」と回答した児童80%以上 ○相互に参観する道徳科の授業を年に1回以上実施する。 ○いじめ防止等(いじめの定義やいじめの防止の取組、事業対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・児童アンケートを実施し、その結果を全職員で分析して共通理解を深め、教育活動に生かしていく。 ・学年に応じて、道徳科のノートやプランシートを活用する。 ・生徒指導担当・いじり対策担当を中心にいじめの対応についての研修や会議を行う。 ・月1回の生活アンケートを実施する。 ・定期的に生徒指導に関する情報交換会の実施・いじめの対応についての研修・会議を行う。						こころ部
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	●規則正しい生活習慣「早寝早起き朝ごはん」の啓発・推進をする。 ○「早寝早起き朝ごはんができている」と回答した児童75%以上	・地域や保護者と連携した学校行事や学年行事を実施する。 ・学年に応じては、各教科等の内容を関連させる。							からだ部
	●安全に関する資質・能力の育成	●児童の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○「交通安全に気を付けている」と回答した児童90%以上	・保健便りや生活のきまり、全校・学年集会等での啓発に取り組み。 ・定期的に歩いて登校することや外遊びの大切さを呼びかける。							からだ部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日を設定する。 ・超過勤務時間が月45時間、年間360時間を超えないよう個別に声かけをして、啓発を図る。 ・夏季・冬季休業中に年次休暇取得推進週間を設定し、日常的に取得を推進する声かけを行う。							管理職
	○働きやすい職場環境づくりの促進	○職員の声を生かしながら働きやすい職場環境づくりに取り組み、職場環境満足度85% ○年休を取得しやすいように会議の回数や出席者の数を見直す。	・休憩を放課後に設定した校時を設定する。 ・上期、下期に職場アンケートを実施する。							管理職
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上 ○「支援を要する児童のニーズに応じた取組を行った」と回答した教員85%以上	・特別支援教育に関する研修会と公開授業を実施する。 ・子ども支援会議とケース会議を実施し、情報共有を図る。 ・SC、SSW、SSFや外部機関の活用による支援体制の充実を図る。							こころ部
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○情報モラル教育	○情報モラル教育の推進と環境整備の向上	○保護者アンケートで「お子さんは『川副中校区情報モラル3つのめあて』を守りながら、SNSやゲーム、インターネットなどを使用している」と回答した保護者70%以上	・年間カリキュラム上に情報モラル教育を位置付けて計画的に実施していく。 ・毎月「ネット社会の歩き方」の動画視聴を行い、情報モラルについての啓発を行う。							まなび部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望